

朝鮮新報に福島ハッキョが大きく紹介されました

2月10日号の朝鮮新報はご覧いただきましたか?「福島がこんなに紙面を占めてしまっているの?」というほど大きく紹介されました。(3, 7, 8面)内容は「東日本大震災から3年、福島初中の今」というタイトルで、震災後、特に原発事故の影響のもと様々な困難の中過してきた福島ハッキョを取り巻く学生、ソンセンニン、保護者たちに対する取材をもとにした記事になっています。この記事を書きあげるため新報社の記者が数日ハッキョに泊まり込んだそうです。

震災後3年を迎えようとする今日、いつの間にか日常になってしまった放射線量やマイクロシールドなどという単語たち、激減した学生数、それでも福島県にとどまって不安と闘いながらここで暮らすトンポの生活が本当は非日常なのだという事を思い起こしてくれたようでした。

深刻になりがちな記事の内容ながらも子供たちの明るい姿を紹介する記事や写真には癒されます。この日の記事は他地域でも大きな反響があったようです。紙面を大きく割いて福島ハッキョを紹介してくれた新報社や記事に関心を持って観てくれる他県のトンポたちから「福島がんばれ!」のエールが聞こえてくるようです。

ぜひご覧ください。(web版でもご覧になれます)

『予告』イオ3月号でも震災後3年を迎えるにあたり東北地方を特集するそうです。身近な人たちが誌面に出るかも…ご期待下さい。

民族楽器重奏団「民楽(ミナク)」チャリティー演奏会のお知らせ

民族楽器愛好家たちの団体「民楽」は震災直後からチャリティー演奏会を行い、ここで得た収益金を被災したウリハッキョ(福島・茨城・東北)に支援金として送る活動を行っています。第1回目の演奏会ではウリ福島ハッキョの民族器楽部も舞台に立ち、観客たちから大きな声援をいただきました。

この度3回目の開催が決定し、福島の学生も東京の学生とともに参加することになりました。「民楽」では福島県内で観覧を希望する方には無料招待をして下さるそうです。(通常2,000円)

今回の公演には民族楽器の演奏の他にアエ☆ユニット(おやじ世代で結成されたコーラスグループ)、舞踊家の高定淳さんもゲスト出演します。チケットを希望する方は総聯本部にご一報ください。

4月18日(金)開場18:30 開演19:00

場所 北とぴあ つつじホール

東京都北区王子 王子駅徒歩1分

今年もハッキョでそば打ち体験!

すっかりこの時季の恒例行事になったハッキョでのそば打ち体験。今年は学習発表会とともに2月22日に行われます。

日朝友好福島県民会議の皆さんとともにハッキョで楽しいひと時を過ごします。トンポの皆さんも22日(土)にはハッキョを訪ね学習発表会をみて、一緒にそば打ち体験はいかがですか?

今週の放射線量 (ハッキョ自動測定器)

3日(月)	0.127	7日(金)	0.127
4日(火)	0.126	8日(土)	0.122
5日(水)	0.117	9日(日)	0.087
6日(木)	0.122		

12	13	14	15	16	17	18
水	木	金	土	日	月	火
金剛山歌劇団 実行委員会(総括)	会津オンマ教室	15日会		光明星節		